

科目名	リハビリテーション論					開講 キャンパス	神 埼
担当者	米 田 郁 夫・大 川 裕 行						
開講年次	3	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	リハビリテーションの概念やその実践方法について説明する。さらに、様々な障がい特性に応じたリハビリテーションについても説明する。最後に、障がい者や高齢者が社会の中で生活していく上で必要な社会資源、工学的技術支援の実際について一緒に考えながら事例検討を行う。						
授 業 の 到達目標	1) リハビリテーションの基礎概念を理解できる 2) リハビリテーション医療に関わるコメディカルについて理解できる 3) 身体に関係するさまざまな障がいを理解する 4) 障がいの種類や程度および分類について理解できる 5) 障がいに対する評価の概要について理解できる 6) 身体障がいに対するリハビリテーションの考え方について理解できる 7) 内部障がいに対するリハビリテーションの考え方について理解できる 8) 老年期障がいに対するリハビリテーションの考え方について理解できる 9) 地域の中で暮らす障がい者への考え方について理解できる 10) 障がい者の自立支援および社会活動能力の維持拡大に必要な諸要素について理解する						
学習方法	講義、ディスカッション、ビデオ視聴						
テキスト及び参考書等	参考書：「学びやすいリハビリテーション論第2版」金芳堂、2013年、ISBN 978-4-7653-1293-6						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等	◎	○					60
宿題・授業外レポート	◎		◎				20
授業態度			○	○			20
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	リハビリテーションの概念と障がいの評価（身体的・精神的・社会的・知的）について（大川）						
第 2 週	リハビリテーション医療に携わる人々とリハビリテーションプログラムの基本的な考え方（大川）						
第 3 週	身体障がい（内部障がいを含む）に対するリハビリテーション 1（大川）						
第 4 週	身体障がい（内部障がいを含む）に対するリハビリテーション 2（大川）						
第 5 週	知的障がいに対するリハビリテーション 1（大川）						
第 6 週	知的障がいに対するリハビリテーション 2（大川）						
第 7 週	精神障がい及び老年期障がいに対するリハビリテーションと介護予防について（大川）						
第 8 週	リハビリテーション工学序論（米田）						
第 9 週	上肢機能の工学的理解（米田）						
第 10 週	上肢障がいと工学的支援技術 動力義手（米田）						
第 11 週	下肢機能の工学的理解（米田）						
第 12 週	下肢障がいと工学的支援技術 義足（米田）						
第 13 週	ハイテク義足の可能性（米田）						
第 14 週	肢体麻痺と工学的支援技術（米田）						
第 15 週	まとめ（レポートの作成）（米田）						
第 16 週							
備 考	授業前には事前学習、授業後は事後学習をしっかりと行い、疑問点等があるときはそのままにせず積極的に教員に聞くようにすること。						